

エコネット城南

こども特集号

【 行 政 広 報 】

城南衛生管理組合は宇治市・城陽市・八幡市・久御山町・宇治田原町・井手町が環境廃棄物行政を推進するための特別地方公共団体(一部事務組合)です。

編集発行 城南衛生管理組合 総務課

2016年(平成28年)7月発行

〒614-8511 京都府八幡市八幡沢1番地 TEL 075-631-0772 FAX 075-631-7296
HPアドレス <http://www.jyonaneikan.jp> eメール info@jyonaneikan.jp

*パソコンで『声のエコネット城南』(声の広報)を聴くことができます。詳しくは組合ホームページをご覧ください



エコちゃん

食べ物の問題は子どもから大人までみんなが関わっていることなの。食品ロスをへらすと、作るためやもやすためのエネルギーもへるから、地球にもやさしいのよ。

食べ物のごみについて考えよう

世界では、毎年作った量の3分の1に当たる13億トンもの食べ物がすてられています。食べることができるのにすてられてるなんて、もったいないですね。今回は、エコちゃんのお話を聞いてみんなも「食品ロス」について考えてみましょう。



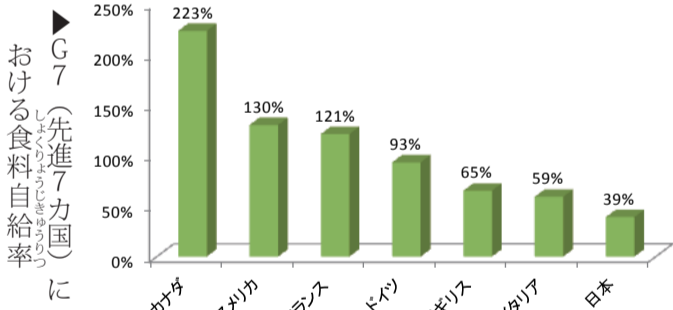
食べられるのにすてられる「食品ロス」といって、日本中のおうちから出ている食品ロスはおよそ302万トンもありま。この量、実は世界全体で食料が足りない人たちに援助した量がおよそ320万トンですから、同じくらいの量なのです。また、1年間で日本で作られるコメの量がおよそ850万トンなので、日本ですてられている食べ物がどれだけ多いかがわかってもらえるとと思います。

日本全体では、1年間におよそ632万トンの食べ物が、食べられることなくすてられています。どれくらいかと言うと毎日1人が136g(お茶わん1杯分のごはん)の食べ物をすてている計算になります。食べられるのにすてられてしまうものを「食品ロス」といい、日本中のおうちから出ている食品ロスはおよそ302万トンもありま。この量、実は世界全体で食料が足りない人たちに援助した量がおよそ320万トンですから、同じくらいの量なのです。

日本の食べ物について



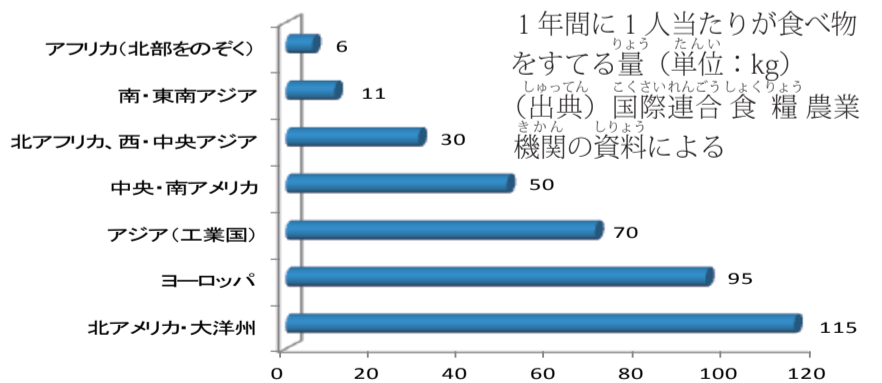
左のグラフはG7(サミット参加国)における自国の食料をどれだけ自国内で用意できているかを表す、食料自給率をまとめたものです。日本は先進7カ国の中では最低の水準となっていて、100パーセントをこえていない国は、国内で必要な分をこえて生産して外国へ輸出しています。日本では39パーセントしか国内で用意できていないので、60パーセント以上を外国からの輸入にたよっているというわけです。つまり、日本ではわざわざ外国から輸入しなければならぬのに、たくさん食べ物をすててしまっているという事になります。大切な土地や時間を使って作った食べ物をすててしまうの、とてももったいないということを知ってください。



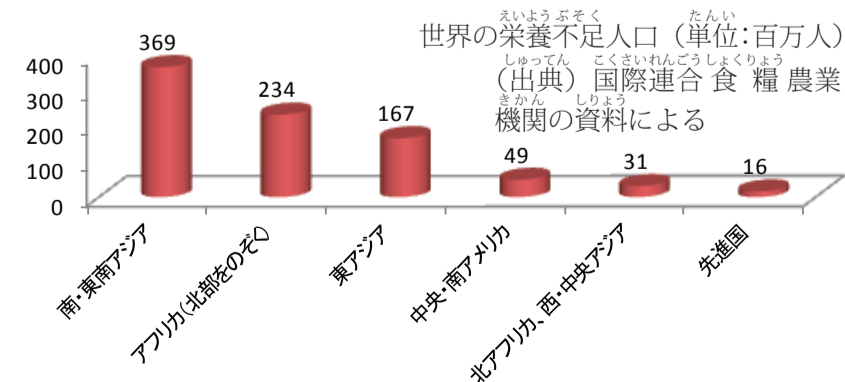
おける食料自給率に G7(先進7カ国) (出典) 農林水産省資料「食料需給表」などによる

右のグラフは消費の食べ物がすてられているのかを地域別にまとめたものです。グラフからわかるように先進国が多い北アメリカやヨーロッパなどはすてられている食べ物の多いことがわかります。上のグラフの先進7カ国は全てすてている量が多い地域に入っています。つまり、ゆたかな国では食品が余っているのに、開発途上国では食べ物が足りないことが多く、すてられている量も少ないということがわかります。

世界の食品ロス



1年間に1人当たりが食べ物をすてる量(単位: kg) (出典) 国際連合食糧農業機関の資料による



世界の栄養不足人口(単位: 百万人) (出典) 国際連合食糧農業機関の資料による

左のグラフは地域ごとに健康な生活を維持していくための栄養が不足している人の人数を表しています。世界全体で8人に1人の人が栄養不足で苦しんでいます。上の青色のグラフと見くらべてください。上のグラフとは多い地域が反対になっていることがわかります。つまり、食べ物をすてている人と、足りない人がはつきりと分かれているという事です。その世界の現状についてみんなが考えることが大切です。

私たちがもったいないことをしているのよ。

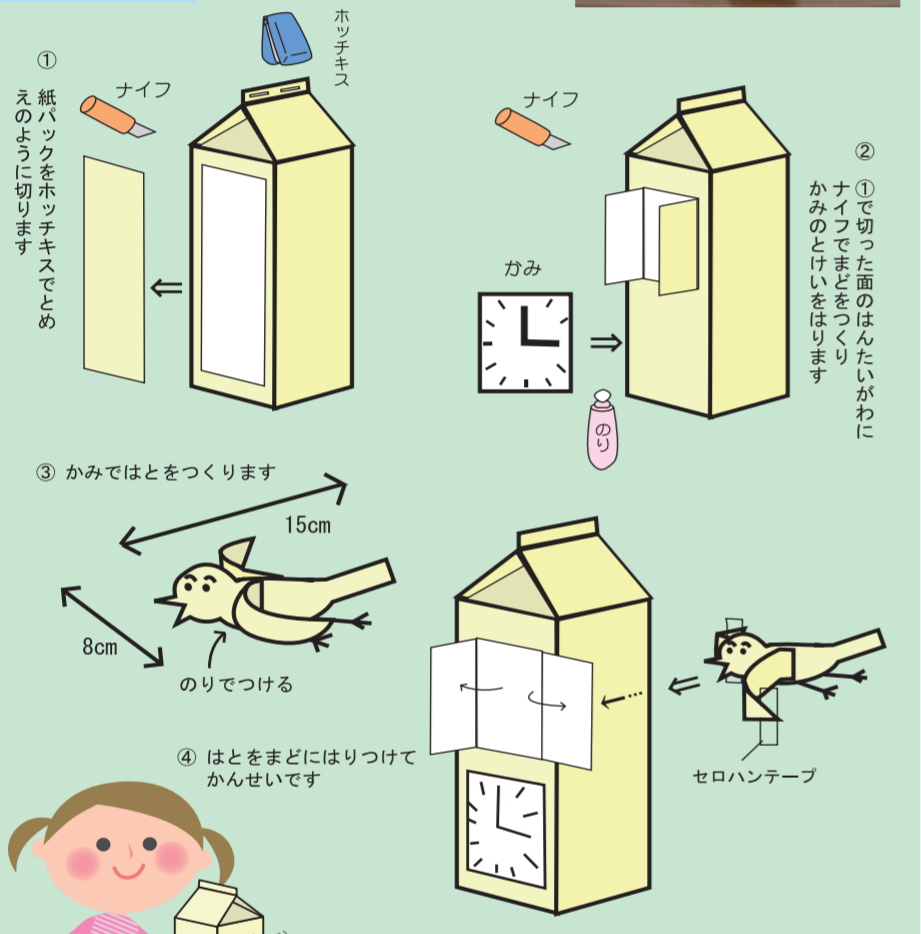
作ったのしい 夏休み工作ガイド

ハサミやカッターなどを使うときは十分に気をつけてね

紙パックでつくる はとどけい

よいい するもの

紙パック・セロハンテープ・ホッチキス・ナイフ・紙・かくもの・はさみ・のり



城南衛生管理組合 で検索してね。

メールアドレス info@jyonaneikan.jp

食べ物大切にしよう

みんなの身近で食べ物について起こっていることや、みんながおうちで食品ロスをへらすためにできることなどを聞いて、おうちの中の「もったいない」をへらしましょう。



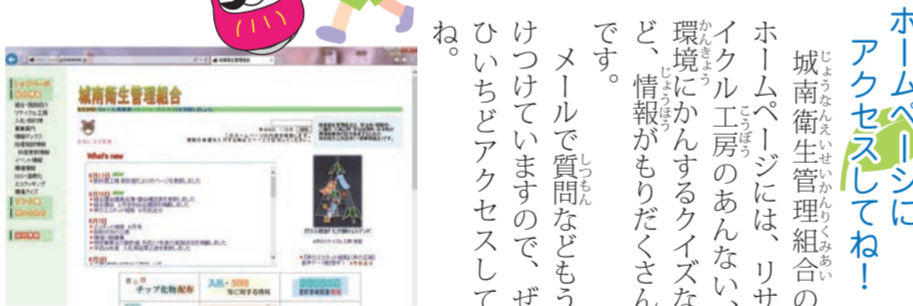
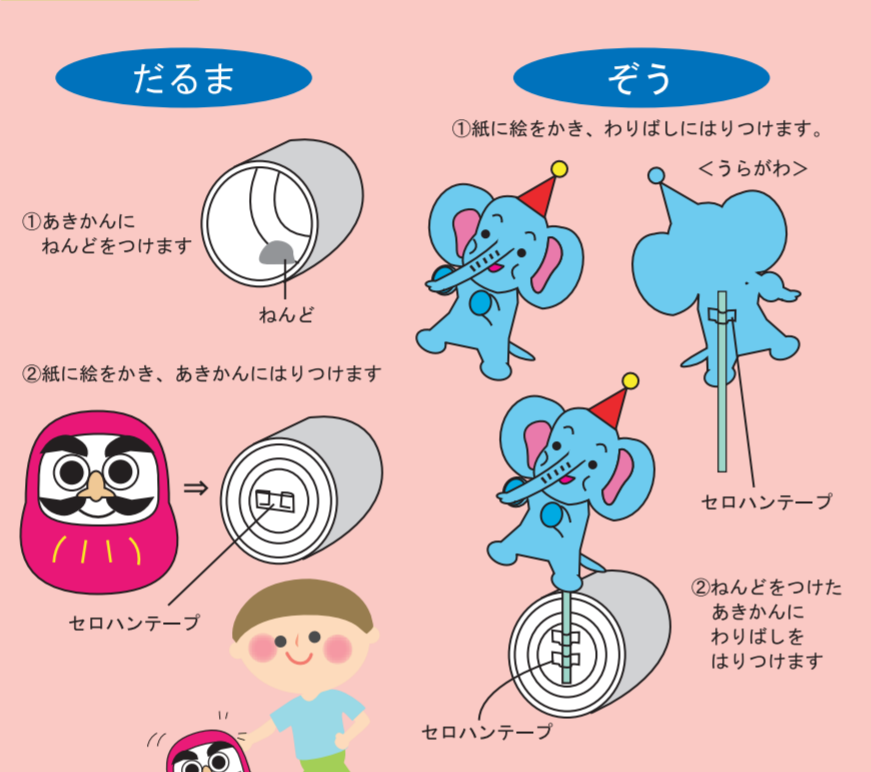
食べ物を使い切ることが大切です

作られた食べ物の3分の1が捨てられている！
「あつ、このおかし賞味期限が切れているや、すてちゃえ、ポイ。」
「ちよつと、食べ物は大切にしなきゃ、すてたらもったいないでしょ。なんで食べられる分だけ買わなかったの。」
「だって、チョコレートとかクッキーとかいろいろ食べたいんだもん。」
「今、世界中で食べずにすてられている食べ物がたくさんあって問題になっているよ。世界には食べ物にこまっている人もたくさんいるのにもったいないことになっているのよ。」
「それならすてる量をへらして、こまっている人を助けるようにしなくっちゃね。でも、なんでそんなにたくさん食べ物がすてられてしまっているのかな？」
「日本のすてられている食べ物の半分は、実は家庭から出ているのだから、みんながおうちで出来ることも多いのよ。」
「たとえば、野菜などの食べられるところまですててしまっていたり、食べのこしたまま、いたんできて使わないまますててしまっているのがあるわ。ごはんの後に、どれくらいお皿に食べ物が残っているか見てほしいの。」

あきかんの おきあがりこぼし

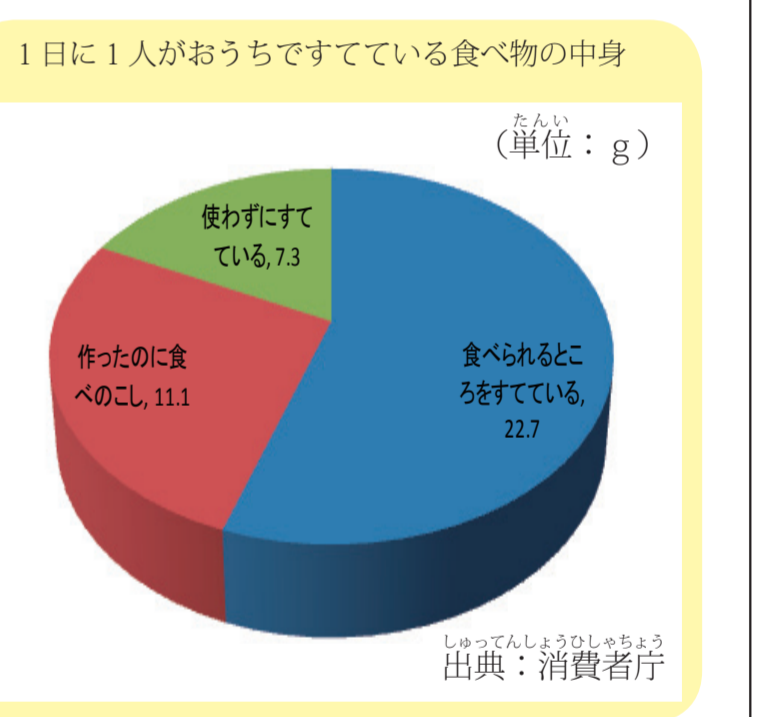
よいい するもの

あきかん・ねんど・紙・かくもの・はさみ・セロハンテープ・わりばし



必要なものだけ 買いましょう
「いばい置きた」
「隣の」
「みんなのおうちから もったいないをへらしていこう」
「なるほど、食べのこしはすてちゃつてるかな。じゃあ、すてる食べ物をへらすにはどうしたらいいのかな。」
「えつ、何ががうの？ そう言えば、書かれてるのが食べ物によつて違うような気がするな。」
「よく知っているじゃやない。賞味期限」はおいしく食べることが出来る期限のこと。期限をすぎてもすぐにいたんでしまつててことはないわ。」
「じゃあ、「消費期限」はどつうで？」
「うーん、ぼくもお店で多すぎて食べきれないことがあるな。」
「えつ、ぼくもお店で多すぎて食べきれないことがあるな。」

「安いからとか、もう一つ買えば割引とか、書かれているとついつい買いきりやうけ、買い物をするとときから考えていくこと大切ね。」
「それに「賞味期限」と「消費期限」を正しく理解することが出来ると思うの。」
「他にもお外に食べに行つたとき、量が多かつたとか食べられないものがあつたりしてのこすことはない？食べきれないとかも食品ごみの原因になるのよ。」
「わりやくす言えば早くいたんでしまふ生鮮食品は「消費期限」が大切で、それほど早くいたまふ食品は「賞味期限」って感じかしら。」
「消費期限」は期限をすぎても大丈夫な食品です。賞味期限はおいしく食べることが出来る期限のこと。期限をすぎてもすぐにいたんでしまつててはないわ。」



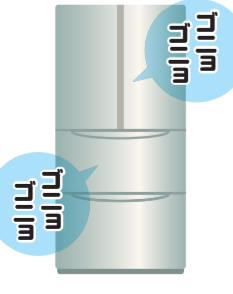
「ホームぺージにアクセスしてね！」
城南衛生管理組合のホームページには、リサイクル工房のあんない、環境にかんするクイズなど、情報がもりだくさんです。
メールで質問などもうけていますので、ぜひいちどアクセスしてね。」

注文するときには量を先に聞いて、食べきれないと思ったら「少なくできますか」と聞いて、食べられないものがあつたらそれをぬいてもらうのが大切ね。
「ああよかった。俺たち、パパさんのごはんになるみたいだな、でも、パパさんが食べなかつたらどうなるの？」「すてられちゃうんじゃない？」「この前、食べてないリンゴがいたんで、ママさんが丸ごとすててたよ？」「ああ、リンゴだって、いたんだ所だけすてりゃいいのに。すていふん世の中、変わつちまつたんだねえ。」
「おにぎりさんたちは運よく助かりましたが、彼らの言うことはごもっとも。昔はお米の一粒まで、農家の人たちに感謝しながら食べなさいって教えられまし

「注文するときには量を先に聞いて、食べきれないと思ったら「少なくできますか」と聞いて、食べられないものがあつたらそれをぬいてもらうのが大切ね。」
「あれ、ぼくもこのしたらごみになるから、みんなの「もったいない」の気持ちで環境を守っていいこうね。」
「でも、世の中がゆたかになって、みんな気軽に食べ物をのこすようになってしまったのです。」
「場所がかわつて今度はスーパー。パン売り場から、メロンパンとあんぱんのヒソヒソ話の聞こえてきます。」
「俺さ、明日が賞味期限だから、今日の夜まで売れなかつたら、きつとすてられちゃうんだぜ、ひどい話だと思わない？」「ええ、ついでにこの前、ここに来たところだよ。」
「君も売れなかつたら、同じ運命さ。俺がもとの小麦だったころは、カナダから意気揚々と日本に運ばれてきたのよ。あんな運命だよ。」
「ぼくも、期限が来たらすてられちゃうのかな？」「どこから来たって、おんなじさ。」

「何このシール？」あれ、50円引きって書いてあるよ？」
「あ、あつた瞬間、こんどはおばちゃんの手がニョツ！と出てきてメロンパンをつかみ、カゴに入れた。」
「値引きシールはられたとたん、メロンパンを買う人が現れたのです。ああよかつた。遠くから日本に来て、ゴミにならずにすみました。」
「みんなのおうちの食べ物たちも、人のいないところで、ヒソヒソ話をするのが大すぎです。一度、そのお話を耳をかたむけてみませんか？もしかしたら「もったいない」って言うっていかもしれません。」

「あれ、ぼくもこのしたらごみになるから、みんなの「もったいない」の気持ちで環境を守っていいこうね。」
「でも、世の中がゆたかになって、みんな気軽に食べ物をのこすようになってしまったのです。」
「場所がかわつて今度はスーパー。パン売り場から、メロンパンとあんぱんのヒソヒソ話の聞こえてきます。」
「俺さ、明日が賞味期限だから、今日の夜まで売れなかつたら、きつとすてられちゃうんだぜ、ひどい話だと思わない？」「ええ、ついでにこの前、ここに来たところだよ。」
「君も売れなかつたら、同じ運命さ。俺がもとの小麦だったころは、カナダから意気揚々と日本に運ばれてきたのよ。あんな運命だよ。」
「ぼくも、期限が来たらすてられちゃうのかな？」「どこから来たって、おんなじさ。」
「そんなんです。日本の食べ物のおもてなしは、自分の国で作ることが出来る割合はたったの39%なのに、すてられる食べ物も多いんです。時間が刻々とすすむ中、メロンパンとあんぱんはドキドキしながら買われるのを待ちます。」
「その時です。お店の人がやつてきました。「ああ、どうも俺も、すてられる時がきまつたぜ。残念だよ、さようなら。」メロンパンがそう言って目をつぶりました。すると、何かベツツとシールがはられました。」



「何このシール？」あれ、50円引きって書いてあるよ？」
「あ、あつた瞬間、こんどはおばちゃんの手がニョツ！と出てきてメロンパンをつかみ、カゴに入れた。」
「値引きシールはられたとたん、メロンパンを買う人が現れたのです。ああよかつた。遠くから日本に来て、ゴミにならずにすみました。」
「みんなのおうちの食べ物たちも、人のいないところで、ヒソヒソ話をするのが大すぎです。一度、そのお話を耳をかたむけてみませんか？もしかしたら「もったいない」って言うっていかもしれません。」



▲地球温暖化防止会議(COP21)の様子

(c)Masayoshi Iyoda, Kiko Network 2015

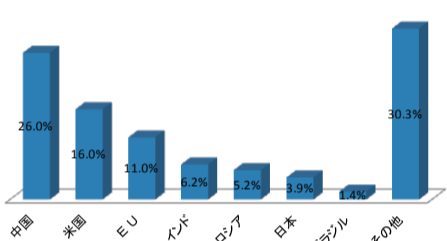
きょうてい パリ協定って 何だろう？

みなさんはパリ協定って知っていますか。去年の11月にフランスのパリで開催され、世界175カ国が参加して決めた地球温暖化防止に関する約束ですが、これからの世界についてすごく大切なことなので、聞いたことないという人も少し地球環境について考えてもらえればと思います。

200年くらい前から石炭などを多く使い始めましたが、当時に比べると地球は1℃くらいあたたかくなりまし
た。たった1℃ってみなさん
は思いかも知れませんが1℃

でも地球温暖化で
どうなるの？

世界の二酸化炭素排出量(平成24年)



IEA(国際エネルギー機関)の資料より

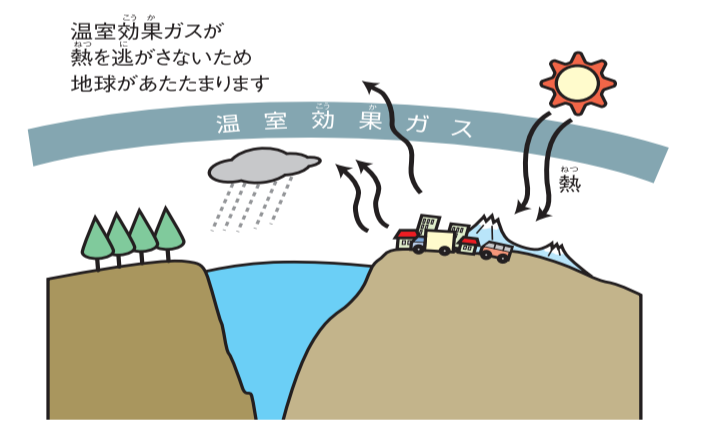
これからそれぞれの国で二酸化炭素をへらしていくための努力が必要となつてきます。

これまでの会議ではゆたかな国だけが二酸化炭素などのガスをへらすべきだと他の国は二酸化炭素をへらすことを受け入れませんでした。ただ、中国やインドやロシアなども二酸化炭素をたくさん出しているの、協力なしには地球温暖化を止めることはできません。今回のパリ協定では世界の175カ国が協力して200年からの地球の温度が上がらぬのを2℃未満に抑えるよう、各国二酸化炭素をへらす量の目標を決めることにしました。

175カ国が約束

上がる、南極や北極の氷がとけて海面が2メートル上がり、山が多い国土の日本にそれほど影響はないかも知れませんが、太平洋の小さな島国は島ごと海に没してしまいかも知れません。また、大きな台風が発生したり、大雨がふえたりします。暑くなる日が増えて動物や植物の生態系がかわつてしまします。もし、対策を何もしなければ今世紀末には気温が4℃も上がつてしまうといわれています。

地球温暖化とは
今は、大昔の植物や動物の化石からできている石炭や石油などの燃料をもやしてエネルギーにしています。もやすきに出る二酸化炭素は太陽からとどいた熱を地球の外に出ないようにフタをしてしまいます。それが原因で地球があたたかくなってしまっています。



★夏休み親子体験教室★

この夏、エコ・ポート長谷山で工作教室を開きます。使わなくなった布やガラスやペットボトルなどを使って作るエコな工作教室に、ぜひ参加してみてください。

申し込みは、エコ・ポート長谷山へ ☎ 0774-56-5556 (休館日：水・木曜日)

7月22日8時30分から
電話で先着順にて受付
(ガラス教室は7月5日
から受付中)
エコ・ポート長谷山へは
下の地図を見てください



7月31日(日)
ガラス教室
「プレートにサンド」
「ガラスのモビール」
*親子で2種類の作品を作ります
☆時間：10時～12時
13時～15時
☆参加料：500円(親子ペア)
☆定員：各回10組20人

▲プレートにサンド
◀ガラスのモビール

8月7日(日)
衣服教室
「ペットボトルの水族館」
☆時間：10時～15時
☆参加料：100円(親子ペア)
☆定員：10組20人
*昼食を用意してください。

2つの作品を作ります。

8月13日(土)
リサイクル教室
「ペットボトルで作る浮沈子」
または「サルウェイ」
*親子でどちらかの作品1つを作ります
☆時間：10時～12時,13時～15時
☆参加料：無料
☆定員：各回10組20人

ペットボトルを握ると、魚が沈みます
タイヤを回して、床に置くと走ります